



2026 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ク シ ー ジ ア
代 表 者 名 代表取締役社長 段 卓
(コード番号：4936 東証スタンダード)
問い合わせ先 取締役管理部担当 福 井 康 人
TEL. 03-6911-3899

通期業績予想と実績値との差異及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2026 年 6 月 12 日に公表いたしました 2026 年 7 月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2026 年 7 月期において特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異

(1) 2026 年 7 月期通期連結業績予想と実績値との差異（2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日）

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	親会社株主に帰属 する当期純損益	1 株 当 た り 当 期 純 損 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	13,500	△250	△34	△105	△4.59
実 績 値 （ B ）	13,466	△176	23	△464	△20.33
増減額（B－A）	△33	73	57	△359	－
増 減 率 （ ％ ）	△0.2	－	－	－	－
（参考）前期実績 （2025 年 7 月期）	13,478	513	504	320	13.74

(2) 通期連結業績予想と実績値との差異の理由

売上高及び営業損益につきましては、概ね前回発表予想通りの着地となりました。

経常損益につきましては、為替相場が円安基調で推移し、為替差益が増加したことから、前回発表予想を上回る結果となりました。

一方で親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記 2. に記載のとおり、特別損失を計上したことにより、前回発表予想を下回る結果となりました。

2. 特別損失（減損損失）の計上

当社は、直近の損益状況及び 2027 年 7 月期の事業計画を踏まえ、当社グループが保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を慎重に検討いたしました。その結果、当社の事業用資産、株式会社エムアンドディに係るのれん及び固定資産、並びに在外連結子会社の使用権資産及び有形固定資産について、回収可能性が当初の見込みを下回ると判断し、2026 年 7 月期において、減損損失として 410 百万円を特別損失に計上することといたしました。

以 上